



持続可能な地域づくりのために



事業の中間ご報告

2024年9月期



一人ひとりの情熱と知恵と挑戦で、東北を幸せと希望の産地にします。

東北に誇りを持つ。東北で暮らすことが憧れになる。そんな未来を、一人ひとりのアイデアとアクションで生み出していきます。広げていきます。

東北に根差して、東北の人たちと育む新しい価値を人々へ、世の中へ。

もう、何気なく夢見るだけでは、つくりたい未来には届かない。

大切なのは行動すること。

地域のいちばんのファンとして、サポーターとして、いつだって同じ目線に立ちながら。

ときには金融機関らしくない、思い切ったチャレンジも取り入れて。

一人ひとりが、考えます。動きます。

世界のどこよりも幸せと希望が実る、東北の未来のために、いま。

グループ経営理念	1	ステークホルダーエンゲージメント	10
ごあいさつ	2	業績ハイライト	11
荘内銀行および北都銀行の合併について	3	会社概要、フィデアグループSDGs宣言	17
新銀行の地域戦略について	5	株式関係のご案内	18
サステナビリティ経営の実践	7		
顧客支援力の強化	9		

※本誌では、計数は原則として単位未満切捨てのうえ表示しております。ただし、構成比につきましては端数を調整して表示しているものを含んでおります。



株式会社北都銀行
代表取締役頭取
伊藤 新

フィデアホールディングス株式会社
代表執行役社長 CEO
新野 正博

株式会社荘内銀行
代表取締役頭取
松田 正彦

ごあいさつ

皆さまには、平素より荘内銀行、北都銀行をはじめフィデアグループ各社に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社グループは、2009年に東北初の広域地方銀行グループとして荘内銀行及び北都銀行の経営統合により誕生いたしました。この度、経営統合の最終段階として2027年1月に両行の合併及びシステム統合を実施し、「フィデア銀行」として新たなスタートを切ることを決定いたしました。

2025年度からは、頭取をはじめとする役員、本部部長の兼務体制を構築して、実質1行の経営体制を開始することで、合併シナジーを前倒しで発揮するとともに、新銀行への円滑な移行を図ってまいります。

「フィデア」の名称は、経営統合の理念である「信頼の輪で結ばれた、地域とともに反映する金融グループ」を表し、シンボルマー

クには「東北で生まれ、地球全体へ大きく広がる、私たちの夢」という思いが込められており、フィデア銀行となってもこの理念に変わりはありません。

フィデア銀行は、山形県、秋田県にまたがる広域地方銀行として、両県経済の活性化に、これまで以上に貢献してまいります。具体的には、地域経済を支える事業者支援に加え、両県の強みである再生可能エネルギー事業や観光等の地方創生施策を強力にサポートすることにより、両県の産業振興や経済活性化に積極的に取り組み、地域やお客さまとともに成長する銀行を目指してまいります。

一層のご支援とご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

荘内銀行および北都銀行の合併について

当社及び荘内銀行、北都銀行は、経営統合シナジーの更なる発揮と地域のお客さまとの関係をより一層強化することを目指し、両行の合併に向けた準備を進めてまいります。

《新銀行の名称》

新銀行の名称は「株式会社フィデア銀行」に決定いたしました。フィデアグループが東北初の広域地方銀行グループとしてスタートして以来15年が経過しています。広域地方銀行である新銀行の未来を見据え、ラテン語のFIDEs(信頼)と英語のAlliance(連携)に表している当社の発足理念は新銀行においても変わりません。そして、現在の経営戦略の柱であるコンサルティングにつながる「Financial IDEA=金融のアイデア、創意工夫」の姿を目指してまいります。

《新銀行の地域戦略》

合併による規模の拡大や営業基盤の拡充を最大限活かし、山形県、秋田県にまたがる広域地方銀行として、広域性と専門性の強みに更に磨きをかけて、地域経済を支える事業者支援による両県経済の活性化に、より一層貢献してまいります。

また、両県の強みである再生可能エネルギーや観光等の地域創生施策を強力にサポートすることにより、両県の産業振興や地域の活性化に積極的に取り組み、地域やお客さまとともに成長する銀行を目指してまいります。

《合併により誕生する新銀行の概要》

合併期日	2027年1月1日
名称	株式会社フィデア銀行
本店	山形県山形市(現荘内銀行山形営業部) ■ 合併を見据え、荘内銀行は2025年5月に本店所在地を山形県山形市へ変更いたします。

- ▶ 合併期日は、システム統合までの必要な期間を考慮し2027年1月としております。なお、実質1行の経営体制として合併効果を前倒しで発揮するため、2025年度から両行頭取及び本部の役員並びに部長の兼務体制を構築し新銀行への円滑な移行を図ってまいります。
- ▶ また、顧客サービスに関する本部機能を強化し、山形県の顧客サービスは山形で、秋田県の顧客サービスは秋田で完結する体制を構築することで、より一層、迅速かつ充実したサービスの提供を図ってまいります。
- ▶ 荘内銀行及び北都銀行の支店名、店番の変更に関連したお客さまのお手続き等は、別途ご案内させていただきます。
- ▶ 関係当局の許認可の取得等を前提として合併に向けた準備を進めてまいります。

新銀行の地域戦略について

フィデア銀行は、地域や事業者の皆さまに提供する課題解決力を磨き、地域やお客さまとともに成長する姿を目指してまいります。

地域経済を支える事業者支援

- ◆規模の拡大による資金供給力の向上・営業基盤の拡充を更なる事業者支援に活用
- ◆地域が抱える諸課題(後継者不在・人材不足・人口減少による内需縮小など)に起因する多様なニーズに対応

ソリューションの深化

事業承継
M&A

経営改善
事業再生

山形⇄秋田
両県⇄県外
のマッチング

GX
DX

域外企業
Uターン人材等の
情報還元

ストラクチャード
ファイナンス

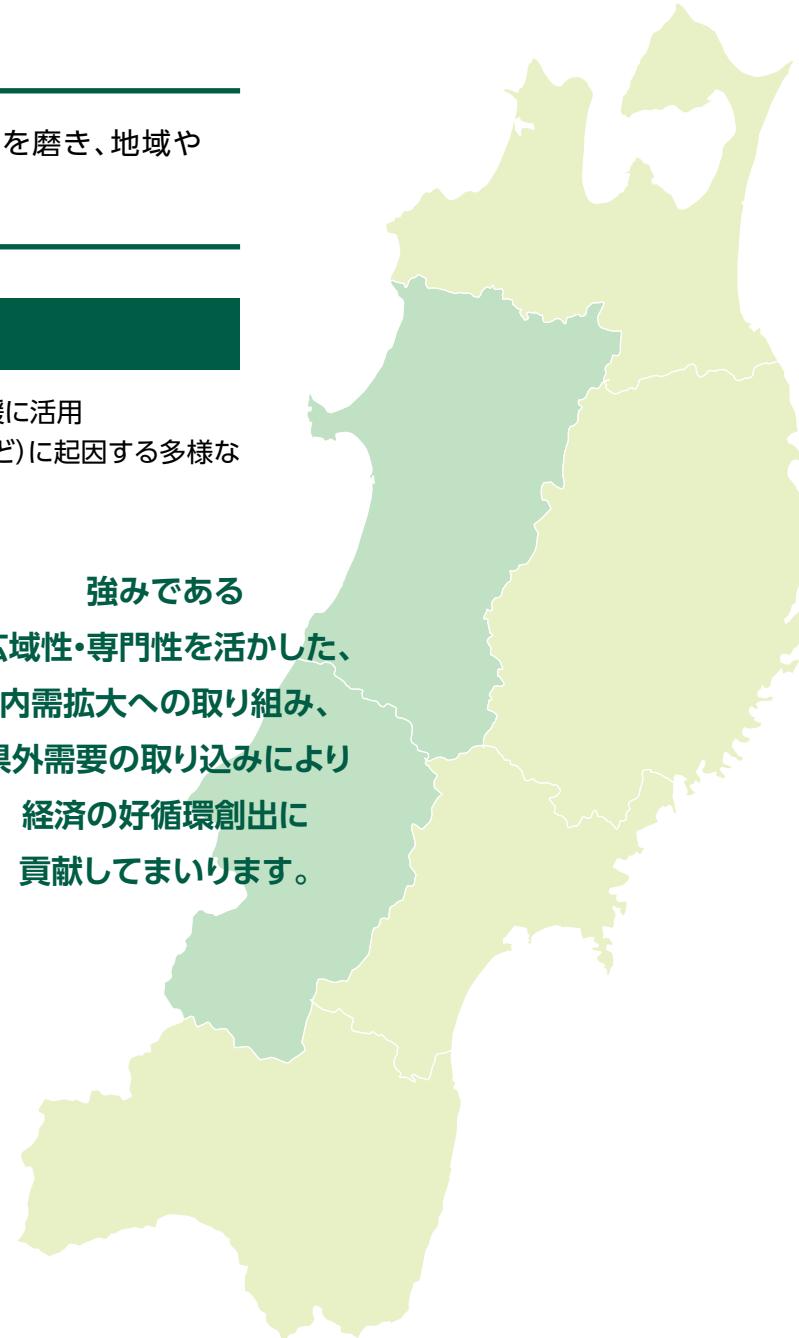
経営支援の強化

- ◆事業ステージに合わせた支援強化のため、貸出や資本出資等のファイナンス手法多様化や経営人材の支援等を推進

専門人材による事業支援拡充

- ◆外部人材ネットワークの活用、専門人材増強により、事業者の持続的成長を支援

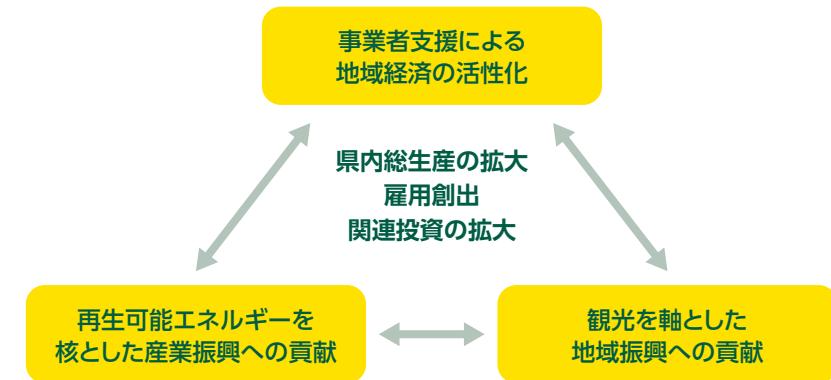
強みである
広域性・専門性を活かした、
内需拡大への取り組み、
県外需要の取り込みにより
経済の好循環創出に
貢献してまいります。



地方創生への取り組み強化

地域の活力向上に向けた取り組み

- ◆事業者支援の強化に加え、両県の強みである再生可能エネルギーや観光等の地域創生施策を強力にサポート



地域貢献のための体制強化

- ◆両県における地方創生への取り組み強化と東京の拠点機能拡充による広域サポート体制の構築

地域に暮らす方々への金融サービス提供

- ◆地域に暮らす方々の豊かさの向上に貢献
- ◆ライフサイクルに応じた資産の運用、活用、承継支援

サステナビリティ経営の実践

地域の再エネ電力活用、フィデアエナジー設立

フィデアホールディングスは、地域の脱炭素を支援する新会社フィデアエナジー(株)を設立いたしました。

フィデアエナジーは、再生可能エネルギーの地産地消に向けて、銀行業高度化等会社として初の電力小売事業を開始いたします。

電力小売事業は、25年度中の事業開始を予定しております。フィデアグループ各社への供給から開始し、地域の再エネ発電所等からの電力調達を拡大しながら、お取引企業へのサービス提供を目指します。

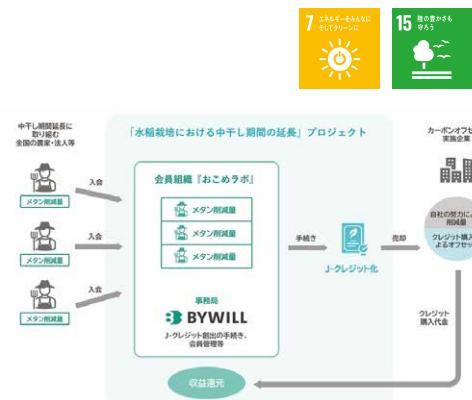
また、再生可能エネルギー発電事業、カーボンクレジット事業、脱炭素コンサルティング事業等の総合的な脱炭素支援体制を構築し、地域の脱炭素化と経済の好循環に貢献してまいります。

地域産業に対する脱炭素化支援

GX室では、地盤とする東北地方のカーボンニュートラルに向けた取り組みを推進しています。

今般、提携するバイウィルとの協働で、地元の農業法人および大規模農家へ水田でのJ-クレジット創出によるソリューションを提供し、温室効果ガス削減および農業収益向上につながるGXコンサルティングを実施しました。

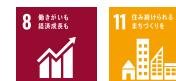
フィデアグループは、環境省東北地方環境事務所との連携、事業パートナーとの提携を積極的に活用しながら、持続可能な社会の実現に向けた地域の脱炭素化支援を続けてまいります。



サステナビリティ経営の実践

フィデア情報総研50周年

フィデア情報総研は2024年2月27日をもちまして、創業50周年を迎えました。創業以来、公共部門と金融部門を主な柱としてIT事業を展開してまいりましたが、近年は公共部門を主力とし、多くのプロジェクトにおいて信頼を得ることができました。5年前には総合研究所との合併を果たし、ITコンサルティングへの挑戦を開始しました。これにより、我々の技術力と知見が一層強化され、高品質なサービスを提供できるようになりました。また、銀行との協力を通じて、民間企業のDX支援にも積極的に取り組んでおります。今後もグループとの連携を深めながら民間企業のDX支援に全力を注ぎ、さらなるイノベーションと品質向上に努めてまいります。



50周年ロゴとキャッチコピー



Be Creative, Go, move On.
もっと自由に、動き出せ。

50周年特設ページ▶



鶴岡信用金庫とのM&A業務に関する連携について

荘内銀行は、鶴岡信用金庫(本店:山形県鶴岡市、理事長:佐藤祐司)とM&A業務に関する連携協定を締結しました。

山形県内の経営者の平均年齢は64.5歳と全国平均より高く、今後ますます経営者の高齢化が見込まれる中、企業にとって事業承継は喫緊の課題であります。本業務連携協定を通じ、鶴岡信用金庫と当行の間で相互のリソースやノウハウ等を駆使し、企業の事業承継・事業成長を支援し、地域経済の持続的な発展、雇用の維持に貢献してまいります。



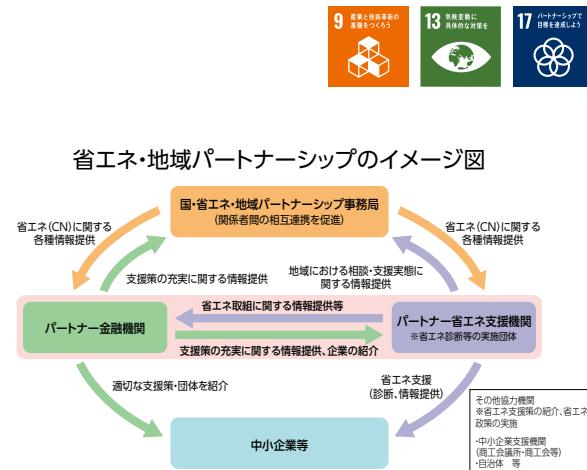
顧客支援力の強化

「省エネ・地域パートナーシップ」への参加

荘内銀行と北都銀行は、経済産業省資源エネルギー庁が立ち上げた「省エネ・地域パートナーシップ」へパートナー金融機関として参加しました。

本枠組みには、中小企業の省エネ支援を後押しするため200を超える金融機関や省エネ支援機関が各地域のパートナー機関として参加しています。今後、国等から省エネに関する各種情報の提供を受け、支援策等の紹介を通して中小企業の省エネを地域一丸となり支援いたします。

両行は、引き続き持続可能な地域社会の実現に向けた脱炭素化に資する取り組みを積極的に支援してまいります。



専門人材によるデジタル化支援

フィデアグループでは、地域の企業様に向けた「DXコンサルティング」に積極的に取り組んでいます。

お取引先企業の生産性向上・業務効率化に対するニーズや、人材不足等の課題に対して、フィデア情報総研にて育成した専門人材が中心になり、BPR診断やDX推進計画の策定を行い、システム開発の提供やデジタルツールの活用を伴走支援で行っています。

フィデアグループは、開発実績の豊富なIT会社をもつ優位性があり、これまでの経験や知見の蓄積による提案を実施し、お客さまの発展に貢献してまいります。



ステークホルダーエンゲージメント

活動開始から15年 荘銀かねやま絆の森

荘内銀行は2010年から金山町の「荘銀かねやま絆の森」を拠点に、山形県、金山町、地元林業者の(有)三英クラフトと連携し森づくり活動を行っています。これまで15年間で延べ約1,500名の役職員や関係者の皆さんが活動。実際に木を育てる活動(下刈り、枝打ちなど)を体験するとともに、森林保全・資源活用の観点から、「サステナビリティ社会の実現に向けた学びと実践の場」としてセミナーやワークショップなども実施しています。

今年度は活動15周年を記念し、同じく金山町で森づくりに取り組んでいる富士フィルムBI山形(株)様との共催で、総勢65名(うち当行関係者24名)が参加しました。



スポーツを通じた地域貢献活動

北都銀行バドミントン部は、日本のトップチームが集結するS/Jリーグに参加しながら地域貢献活動を積極的に行っています。ジュニアバドミントンクラブの運営や特別支援学校でのバドミントン教室など、さまざまな交流を通して、子供たちの健全な育成にも貢献しています。



フィデアホールディングス 連結

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位:百万円)

	2023年9月期	2024年9月期	前期比
経常収益	22,525	25,359	2,833
業務粗利益 ①	13,529	13,727	197
資金利益	13,571	13,426	△ 145
役務取引等利益	2,817	2,965	148
その他業務利益	△ 2,859	△ 2,665	194
うち国債等債券損益 ②	△ 1,639	△ 2,271	△ 632
経費 ③	12,144	11,954	△ 190
実質業務純益 ①-③	1,385	1,773	387
コア業務純益 ①-②-③	3,024	4,044	1,020
与信関係費用	822	1,673	850
株式等関係損益	1,063	1,597	534
経常利益	1,521	1,272	△ 249
親会社株主に帰属する中間純利益	870	715	△ 155

主要勘定(2行合算)

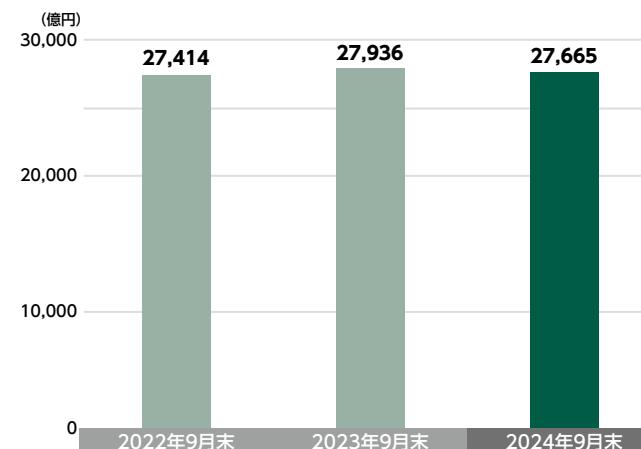
(単位:億円)

	2023年9月期末	2024年9月期	前期末比
預金等残高(譲渡性預金を含む)	27,936	27,665	△ 270
貸出金残高	18,106	19,221	1,115
有価証券残高	7,479	6,881	△ 597

2024年9月期 業績

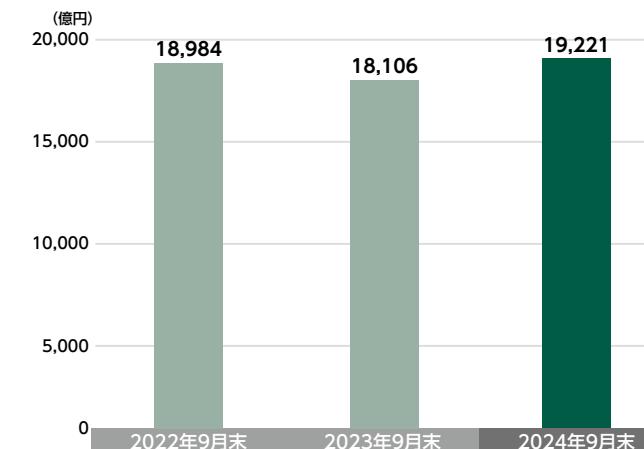
預貸金利息差および預かり資産関連の手数料収益が増加し、引き続き経費削減が進展した一方で、有価証券利息配当金および国債等債券損益の減少、与信関係費用の増加を主な要因として、経常利益は前年同期比2億49百万円(16.3%)減少し12億72百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1億55百万円(17.8%)減少し7億15百万円となりました。

預金等残高(2行合算)



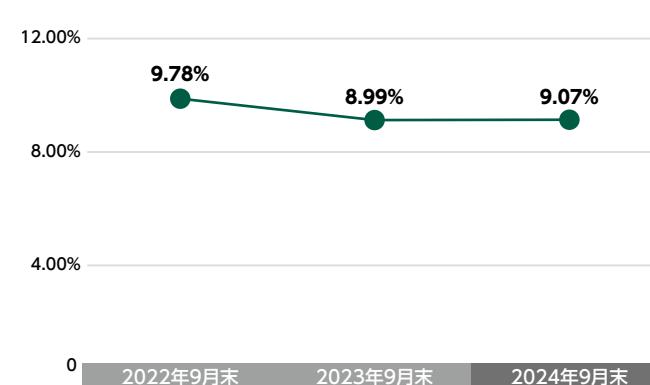
預金等残高は、個人預金および法人預金を中心に前年同期末比270億円減少し2兆7,665億円となりました。

貸出金残高(2行合算)



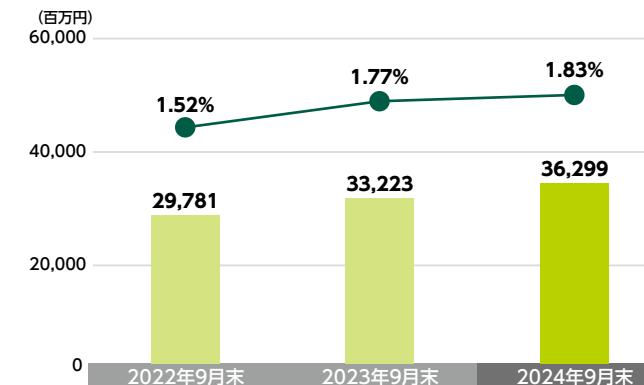
貸出金残高は、事業性貸出を中心に前年同期末比1,115億円増加し19,221億円となりました。

自己資本比率(連結)



自己資本比率は、自己資本の充実及びリスク・アセット・コントロールに取り組む中で、前年同期末比0.08ポイント上昇し9.07%となりました。

不良債権残高・比率(2行合算)



不良債権(金融再生法開示債権)残高は、危険債権を中心に前年同期末比30億76百万円増加し362億99百万円となりました。同比率は1.83%となりました。

庄内銀行 単体

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位:百万円)

	2023年9月期	2024年9月期	前期比
経常収益	10,320	11,721	1,400
業務粗利益 ①	6,110	6,352	252
資金利益	6,906	6,949	42
役務取引等利益	836	1,029	192
その他業務利益	△ 1,642	△ 1,625	16
うち国債等債券損益 ②	△ 644	△ 991	△ 346
経費 ③	5,704	5,572	△ 131
実質業務純益 ①-③	396	779	413
コア業務純益 ①-②-③	1,040	1,770	730
与信関係費用	148	438	289
株式等関係損益	506	1,067	560
経常利益	721	1,167	446
中間純利益	462	566	103

主要勘定

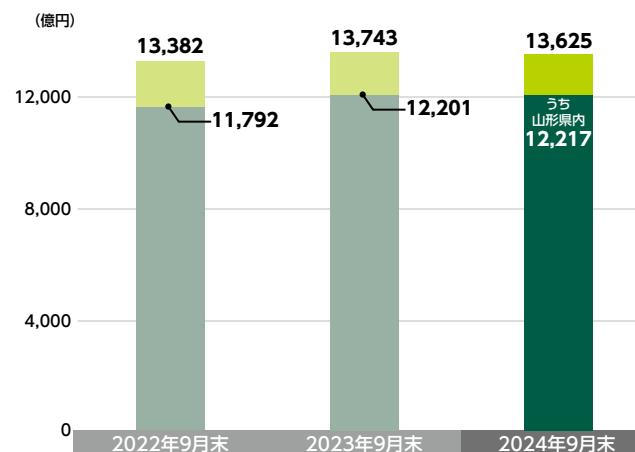
(単位:億円)

	2023年9月期末	2024年9月期	前期末比
預金等残高(譲渡性預金を含む)	13,743	13,625	△ 117
貸出金残高	9,330	9,860	530
有価証券残高	3,855	3,564	△ 291

2024年9月期 業績

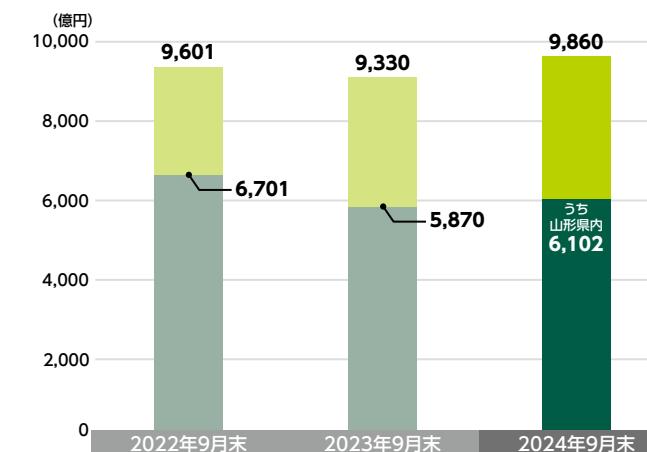
貸出金利息など資金利益が増加したほか、預かり資産及び法人関連を中心に役務取引等利益が増加し、引き続き経費削減が進展したことなどから、経常利益は前年同期比4億46百万円(61.8%)増加し11億67百万円、中間純利益は前年同期比1億3百万円(22.4%)増加し5億66百万円となりました。

預金等残高



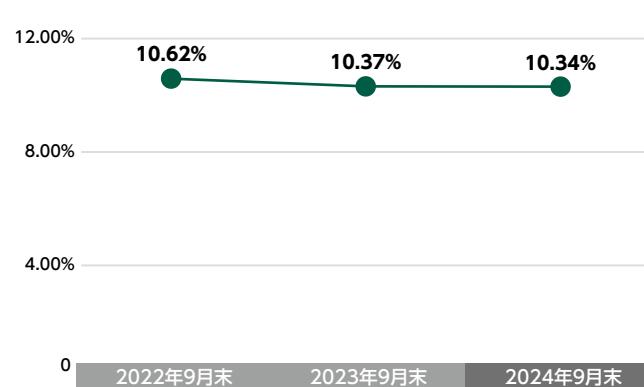
譲渡性預金を含む預金等残高は、山形県内預金が増加推移となる一方で、県外預金を中心に前年同期末比117億円減少し1兆3,625億円となりました。

貸出金残高



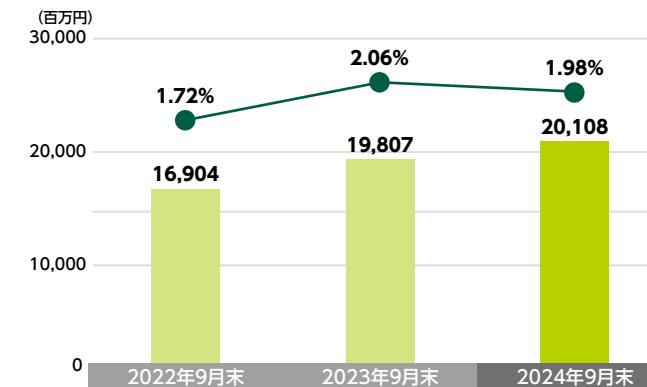
貸出金残高は、事業性貸出や地方公共団体向け貸出を中心に前年同期末比530億円増加し9,860億円となりました。

自己資本比率



自己資本比率は、内部留保の積み上げに取り組む中で、リスクアセットの増加などにより前年同期末比0.03ポイント低下し、10.34%となりました。

不良債権残高・比率



不良債権(金融再生法開示債権)残高は、危険債権を中心に前年同期末比3億円増加し201億8百万円となりました。同比率は1.98%となりました。

北都銀行 単体

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位:百万円)

	2023年9月期	2024年9月期	前期比
経常収益	10,098	11,526	1,427
業務粗利益 ①	6,598	6,625	27
資金利益	6,697	6,538	△ 159
役務取引等利益	1,560	1,539	△ 21
その他業務利益	△ 1,660	△ 1,452	207
うち国債等債券損益 ②	△ 994	△ 1,280	△ 286
経費 ③	5,789	5,744	△ 44
実質業務純益 ①-③	809	881	71
コア業務純益 ①-②-③	1,803	2,161	358
与信関係費用	518	1,034	515
株式等関係損益	556	538	△ 18
経常利益	788	225	△ 563
中間純利益	416	273	△ 143

主要勘定

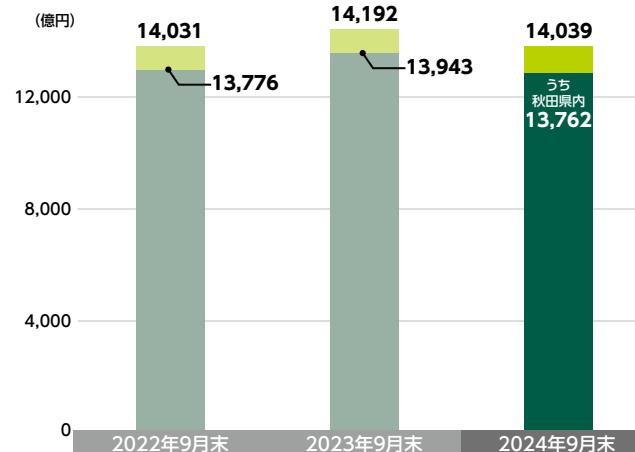
(単位:億円)

	2023年9月期末	2024年9月期	前期末比
預金等残高(譲渡性預金を含む)	14,192	14,039	△ 153
貸出金残高	8,776	9,361	584
有価証券残高	3,623	3,317	△ 305

2024年9月期 業績

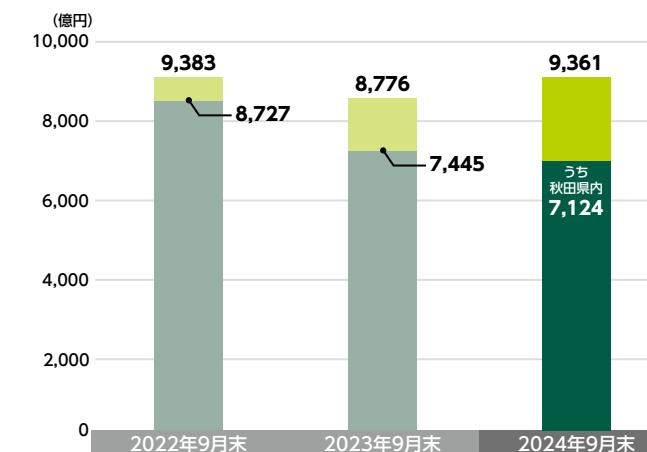
貸出金利息の増加や経費の減少の一方で、有価証券ポートフォリオの再構築に取り組む中で国債等債券損益、株式等関係損益が減少したことなどから、経常利益は前年同期比5億63百万円(71.4%)減少し2億25百万円、中間純利益は前年同期比1億43百万円(34.3%)減少し2億73百万円となりました。

預金等残高



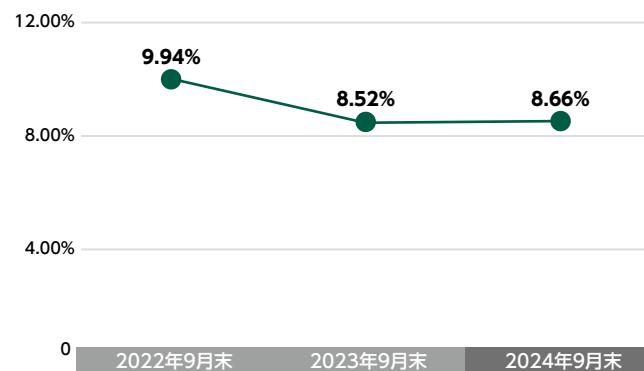
譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金および法人預金を中心に前年同期末比153億円減少し1兆4,039億円となりました。

貸出金残高



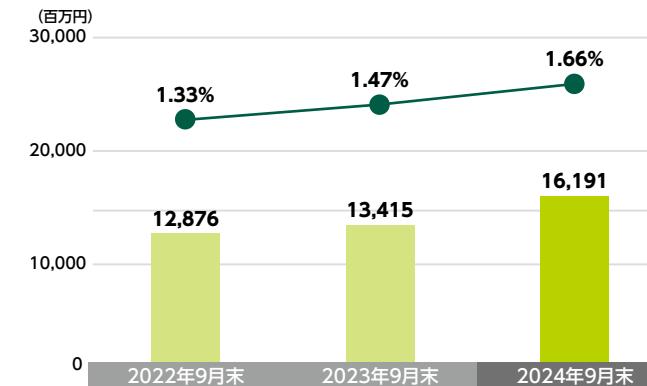
貸出金残高は、事業性貸出を中心に前年同期末比584億円増加し9,361億円となりました。

自己資本比率



自己資本比率は、内部留保の積み上げに取り組む中で前年同期末比0.14ポイント上昇し、8.66%となりました。

不良債権残高・比率



不良債権(金融再生法開示債権)残高は、危険債権を中心に前年同期末比27億75百万円増加し161億91百万円となりました。同比率は1.66%となりました。

会社概要

(2024年9月末日現在)

フィデアホールディングス株式会社

本社所在地	宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号
設立日	2009年10月1日
代表者	代表執行役社長 CEO 新野 正博
資本金	180億円
上場証券取引所	東証プライム市場(2022年4月4日～)
証券コード	8713

荘内銀行

創業	1878年12月1日(第六十七国立銀行)
本店所在地	山形県鶴岡市本町一丁目9番7号
店舗数	89カ店 (本支店88カ店、出張所1カ店)
従業員数	510名

(注) ブランチインブランチ方式による統合店を除く拠点数33カ所

フィデアグループ	株式会社荘内銀行 株式会社北都銀行
	フィデアカード株式会社 フィデアリース株式会社
	株式会社フィデア情報総研 株式会社フィデアキャピタル

北都銀行

創業	1895年5月3日(株式会社増田銀行)
本店所在地	秋田県秋田市中通三丁目1番41号
店舗数	85カ店(本支店83カ店、出張所2カ店)、 海外駐在員事務所1カ所
従業員数	509名

(注) ブランチインブランチ方式による統合店を除く拠点数38カ所

フィデアグループ SDGs宣言



フィデアグループは、国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、地域課題の解決に向けた取り組みを通じて、地域社会の持続的な発展を目指します。

フィデアグループの役職員全員が、情熱と知恵と挑戦で、「東北を幸せと希望の産地にする」という経営理念を主体的に実践し、SDGsの達成に取り組めます。

株式関係のご案内

- 事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までです。
- 定時株主総会**
毎事業年度の終了後3カ月以内に開催いたします。
- 基準日**
毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、定時株主総会において権利を行使できる株主といたします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 剰余金の配当等**
剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に掲げる事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって定めます。
なお、期末配当の基準日は毎年3月31日、中間配当の基準日は毎年9月30日といたします。また、この他基準日を定めて剰余金の配当をすることがあります。
- 公告方法**
当社の公告は、電子公告により行い、当社ホームページ(<http://www.fidea.co.jp/>)に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、宮城県仙台市において発行する河北新報、山形県山形市において発行する山形新聞、秋田県秋田市において発行する秋田魁新報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人**
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所**
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

株式についてのご照会や諸届出書のご提出、単元未満株式の買取および買増請求等につきましては、以下の窓口にお問い合わせください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の証券会社にお問い合わせください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 <small>(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)</small>		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジではお取扱できません)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジではお取扱できません) みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

フィデアホールディングス株式会社

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号

<http://www.fidea.co.jp/>

株式会社 荘内銀行

〒997-8611 山形県鶴岡市本町一丁目9番7号

<https://www.shonai.co.jp/>

株式会社 北都銀行

〒010-0001 秋田県秋田市中通三丁目1番41号

<https://www.hokutobank.co.jp/>

一人ひとりの情熱と知恵と挑戦で、
東北を幸せと希望の産地にします。